『まなび』

松永生涯学習センター　学習情報紙　９月号

201９年　平成３１年　９月１日発行　NO.２１９

問合せ先　松永生涯学習センター

住所　福山市松永町三丁目1番29号

電話　084－934－5443

ファックス　084－934－8251

メールアドレス

matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

1. まちづくり大学公開講座「人が寄り添うまちの創り方」を開催
９月１日に西部市民センターで，ふくやままちづくり大学の公開講座を開催しました。今回は，「人が寄り添うまちの創り方」をテーマに二人の講師をお迎えしました。
	1. 全国表彰　市立資料館を地域で運営
	　初めに「はきもの資料館・地域運営の歩み」と題し，松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会会長の横山典好さんにお話しいただきました。
	　松永地区の九つのまちづくり推進委員会が協議会を設立。市との協働で福山市松永はきもの資料館を運営。各地域からボランティアで参加していただき，収益はテントの購入やイベント負担金の支出などで地域へ還元。はきものは多くの世帯が携わった産業であり，資料館の運営は子どもたちへの文化継承などの大きな役割があります。松永唯一の学習型テーマパークが，長く賑わえるよう大切にしたいと話されました。
	2. 目的はチャリティー　賛同者が集うイベント
	　後半は「ブルーデイジー・地域参加の新たな形」と題し，ブルーデイジー実行委員会代表の平橋真代さんにお話しいただきました。
	　アフリカや震災後の福島を訪ねて出会った人々の「明日が来ることは当たり前」ではない現状を知り，笑顔を届けたい思いをチャリティーイベントに。参加者は賛同した人・商店・外国人市民など。出来ることを持ち寄り，自身も輝いてもらえれば。様々な形の募金を行い「笑顔」の資金に。縁あって，はきもの資料館で開催した今回，地域や行政の助けをいただき，新たな出会いに感謝しますと話されました。
	3. 相乗効果生む　様々な人の集まり方・輝き方
	　多くの人に来館してもらうことは，両者が求めた願いでした。「まちづくり推進」と「目的に賛同」という人の集まり方や「出来ることで輝いてもらう」という考え方は心地よい相乗効果があり，より多様な“人が寄り添うまち”を創るヒントになりました。
2. まつながさんぽ（神村編）のお知らせ
	1. 日時　１１月９日（土曜日）１３時から２時間程度
	2. 講師　田口義之さん（備陽史探訪の会会長）
	3. さんぽコース　神村町
	4. その他　歩きやすい服装，飲み物持参でご参加ください。
	5. 対象　どなたでも
	6. 定員　２０人
	7. 参加費無料
	8. 申込みが必要です
	9. 申込み先　松永生涯学習センター
	電話　084－934－5443
	FAX　084－934－8251
	Mail　matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp
3. 2019年度（令和元年度）福山市西部市民大学特別講座のお知らせ
	1. テーマ　昔話から学ぶ人生の知恵
	生涯を通じて人は学ぶ
	2. 講師　福山大学心理学部教授　赤澤淳子さん
	3. 内容　昔話を心理学で読み解くことで，子どもの頃に気付けなかったメッセージがあります。この度は２点取り上げてお話します。新鮮な驚きを味わってみませんか。
	4. 日時　１０月１１日（金曜日）
	１３時３０分から１５時
	5. 場所　福山市西部市民センター５階　多目的室
	6. 定員　100人
	7. 申込み　不要　どなたでも参加可能
4. 報告　Big Summer Story キミとつくる夏を開催しました
　８月２４日（土曜日）に，ビッグサマーストーリーを開催しました。パワフルサマーステージや子どもチャレンジ広場など，子どもたちが日ごろの頑張り発表したり，色々な体験にチャレンジする場になれたと思います。ご協力いただいたみなさん，ご参加いただいたみなさん，ありがとうございました。
5. 情報びっくり箱
	1. 藤江公民館からのお知らせ
		1. 能力アップ　おとなの脳活文字講座
			1. 日時　１０月１６日（水曜日）
			１３時３０分から１５時
			2. 場所　藤江公民館２階　大会議室
			3. 内容　講義と実技
			4. 講師　岡本真由さん（日本筆跡協会筆跡診断士　書道講師）
			5. 対象　成人
			6. 定員　１５人
			7. 参加費・材料費　無料
			8. 持参物　なし
			9. 申込みが必要です
			10. 申込み先　藤江公民館
			電話　084－935－7401
	2. 神村コミュニティセンターからのお知らせ
		1. 人権啓発講座　理解しよう発達障がい
			1. テーマ　女性の発達障がい
			自分らしさって何？
			2. 日時　１０月２３日（水曜日）
			１８時３０分から２０時
			3. 場所　西部市民センター２階　ホール
			4. 内容　発達障がいの有無に限らず，誰にでも得意不得意があります。発達障がいについて正しい知識を持ち，理解し学習を深めます。
			5. 講師　七海さん（仮名）
			6. 申込みが必要です
			7. 託児　申込みが必要です
			8. 申込み先　神村コミュニティセンター
			電話　084－934－3445
	3. 松永図書館からのお知らせ
		1. １０月の行事
			1. 展示　たのしい布えほん
				1. 期間　１０月１０日（木曜日）から
				１１月１８日（月曜日）
				2. 内容　福山市内の図書館で所蔵している布えほんの展示と貸出をします。
			2. のりもののおはなし会
				1. 日時　１０月１９日（土曜日）
				１５時から１６時３０分
				2. 内容　大型絵本「せんろはつづく」
				手遊び　ミニ工作「ひもでうごく電車カード作り」ほか
			3. 定例行事
				1. あかちゃんといっしょのおはなし会

日時　１０月９日（水曜日）と１０日
（木曜日）の１１時から１１時３０分

対象　乳幼児とその保護者

* + - 1. 図書館のお休み　１０月１５日（火曜日）
	1. 西部市民センターまなびサロン　１０月のお知らせ
		1. おりばらサロン
		　みなさんも折り紙でばらを折ってみませんか。はじめての方も大歓迎です。お気軽にお立ち寄りください。
			1. 日時　１０月１５日（火曜日）
			１３時３０分から１５時
			2. 場所　西部市民センター４階　学習支援室
			3. 問合せ　松永生涯学習センター
			電話　084－934－5443
1. 西部市民センターをご利用の皆様へ
西部市民センター外壁工事のお知らせ
	1. 福山市西部市民センターの外壁改修工事中です。工事期間中は，足場設置に伴い通行が制限されたり騒音や振動を伴うことが予想されます。大変ご迷惑をおかけしますが，ご理解とご協力をよろしくお願いします。
	2. 工事期間　２０１９年（令和元年）９月から
	２０２０年（令和２年）２月末
2. 災害時について
	1. 西部市民センターは，災害時に避難場所として避難者の受け入れを行う場合があり，利用者の皆様には退室をお願いする場合があります。
3. ふくやま人権大学　１１月のお知らせ
	1. １１月は「あなたがあなたでいるための人権文化ゼミ」を４回連続で開講します。
	会場　人権平和資料館
	時間　１９時から２１時
	コーディネイター　小野　裕之さん
	　　　　　　　　　福山市社会福祉協議会事務局長
	2. 各回の紹介
		1. 回目　５日（火曜日）
		演題　人権・同和教育の実践に学ぶ
		　　　私の生き方として活かされたもの
		講師　佐藤　正弘さん
		　　　元中学校教諭
		2. 回目　１２日（火曜日）
		演題　日本語教室の実践に学ぶ
		　　　人のつながりで進める多文化共生
		講師　客本　牧子さん
		　　　福山市中国帰国者をささえる会代表
		　　　人権擁護委員
		3. 回目　１９日（火曜日）
		演題　貧困が生む差別　差別が生む貧困
		　　　支えあう福祉の実践に学ぶ
		講師　藤井　克城さん
		　　　北部生涯学習センター　人権生涯学習担当次長
		4. 回目　２６日（火曜日）
		演題　ふりかえり学習
		　　　人権 同和教育の成果を活かした社会づくり
		講師　小野　裕之さん
		　　　福山市社会福祉協議会事務局長
	3. 詳細
		1. 手話通訳の必要な方はご連絡ください。
		2. 主催　人権・生涯学習課
		3. 駐車場あります。
		4. 定員　３０人　申し込みが必要です。
		5. 受講料は無料です。
		6. 問合せ　申込み先
		人権・生涯学習課
		電話　084－928－1243
		FAX　084－928－1229
		メール
		jinken-shougaigakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp
4. ゲタなび
　１０月１４日は鉄道の日だそうです。１８７２年（明治５年）に新橋　横浜間が開通した教科書の記述を思い出します。それから１９年後の１８９１年（明治２４年）１１月３日，福山　尾道間の開通と共に松永駅が開業しました。
　間もなく，今津本陣の子息，河本亀之助が上京しました。後に東京で出版社を設立し，竹久夢二や武者小路実篤らの作品を世に出すことになる２５歳の若者は，旅立ちの節目の日に真新し駅舎に立ってどんな人生を描いたのでしょう。以後１２０年余りの間，松永駅は地域の玄関として人々の出会いや別れを見つめてきたのです。
　朝夕に並ぶ送迎の車列は，長らく変わらぬ日常の風景。送り迎える人も，送られ迎えられる人も，多くは意識せず過ぎるあたりまえの日々かと。納得の日も，いまいちの日もあるでしょうが，卒業や退職など，やがて訪れる節目の日には，どうかニッコリしていただけたら幸いです。そのために，今日という日をどんな風に過ごそうか，どんな風に過ごしてきたかを考えてみる。玄関とは，そんな場所でもあるのかと思います。

視覚障がいなどの理由がある人のために，営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。

以上